

◇韓日文化交流会・講演会「神奈川近代文学館『生誕 100 年 金達寿展』を受けて」

金達寿 (キム ダルス / 1920 ~ 1997)

作家、古代史研究者。日韓併合下の朝鮮・慶尚南道(キョンサンナムド)に生まれ、10歳で渡日。貧しい家計を助けながら文学を志し、戦後は『玄海灘』『太白山脈』などの小説作品を発表して、在日朝鮮人作家の先駆けとして活躍しました。戦中戦後の約10年間を横須賀市に暮らし、一時期、神奈川新聞社の記者を勤めるなど神奈川県との縁が深い。また、後半生では朝鮮と日本の関わりについて古代にさかのぼって探求し、ライフワーク『日本の中の朝鮮文化』に結実させました。

神奈川近代文学館では、金達寿資料を2003年(平成15)に受贈し、「金達寿文庫」として保存しています。2020年(令和2)末から翌年にかけて、その生涯と作品を紹介した「生誕100年 金達寿展」を開催しました(緊急事態宣言の再発で途中中断しましたが、2021年5月22日から7月18日にかけて再展示)。

今回の講演では、金達寿研究の第一人者である廣瀬陽一氏と金達寿の盟友・李進熙(イ ジンヒ)氏の夫人であり、金達寿の素顔をよく知る呉文子氏により、その文学と業績、そして人間・金達寿を紹介していただきます。



2020年12月、金達寿展の看板前に立つ廣瀬陽一氏(左)と呉文子氏

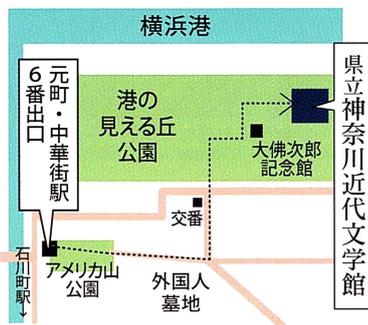
◇プログラム(講師紹介)

第一部 廣瀬陽一「戦後日本を切り拓いた金達寿——その軌跡」

ひろせ よういち / 1974年兵庫県出身 / 近代文学研究者。大阪府立大学大学院人間社会学研究科修了。日本学術振興会特別研究員PD。金達寿の文学作品を研究、翻訳、紹介するほか、中野重治文学などの研究を通じて、近代日韓関係を軸に日本近代文学を読み直す仕事に取り組んでいる。著書に『金達寿とその時代:文学・古代史・国家』(クレイン)、『日本のなかの朝鮮 金達寿伝』(クレイン)、近刊予定に『連帯の神話を超えて:中野重治と朝鮮』(仮題/青弓社)がある。

第二部 呉文子「季刊『三千里』創刊前後の金達寿先生——思いだすままに」

オ ムンジャ / 1937年岡山県出身の在日二世/エッセイスト。山陽女子高等学校(現・山陽学園高等学校)卒業。東洋音楽短期大学(現・東京音楽大学)卒業。1991年、文芸同人誌「鳳仙花」を創刊し、2006年まで同誌代表。1994年から1996年まで、調布市女性問題広報紙「新しい風」編集委員。1998年、調布市「町づくり市民会議」諮問委員。在日女性文学誌「地に舟をこげ」創刊号~7号終刊(2006~2012年)まで編集委員。和光大学名誉教授で、季刊誌「日本の中の朝鮮文化」「三千里」「青丘」の編集長を務めた歴史研究者・李進熙氏の夫人でもある。著書に『パンソリに想いを秘めるとき—ある在日家族のあゆみ』(学生社)、『記憶の残照のなかで』(社会評論社)、『아비님 죄송합니다』(周留城出版社)、共編『わたちの在日』(新幹社)がある。



◇電話予約先——県立神奈川近代文学館(045-622-6666)

県立 **神奈川近代文学館** 〒231-0862 <https://www.kanabun.or.jp>
 横浜市中央区山手町110

ACCESS GUIDE

※駐車場がありませんので、公共の交通機関等をご利用ください。

- 〈東急東横線直通・みなとみらい線〉元町・中華街駅下車 6番出口(アメリカ山公園口)から徒歩10分
 〈バス〉いずれも「港の見える丘公園前」下車、徒歩3分
 ・神奈川中央交通⑩系:桜木町駅~保土ヶ谷駅 ・横浜市営バス⑳系:桜木町駅~山手駅
 ・観光スポット周遊バス「あかいくつ」
 〈JR根岸線〉石川町駅下車 元町口(南口)から徒歩20分

◇講演会の申し込みと注意事項

- ・電話(045-622-6666)またはチラシ表面の予約フォームでお名前・電話番号・参加人数をお知らせください。先着順で定員になり次第締め切ります。
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、通常より定員を減らして開催する予定です。拡大状況により開催日時等を変更する場合があります。
- ・未就学児の入場はご遠慮ください。

神奈川新聞社は2020年2月1日、創業130周年を迎えました。明治から令和まで130年間の元日1面を一挙展示するほか、過去の貴重な報道写真などを紹介します。

企画展 ペンを止めるな! 神奈川新聞130年の歩み
 同時開催———神奈川新聞とJAXA宇宙飛行士 野口聡一さん
2021年10月2日[土]——12月26日[日] ニュースパーク[日本新聞博物館] 2階企画展示室

●10:00~16:30(入館は16:00まで) ※新型コロナウイルス対応 | 月曜休館(祝日・振替休日の場合は次の平日) ●入館料(税込): 一般400円 | 大学生300円 | 高校生200円 | 中学生以下無料 ●主催: 神奈川新聞社 | ニュースパーク(日本新聞博物館) ●協賛: 神奈川新聞 神奈川会 | 神奈川新聞 販売協同組合 ●協力: 宇宙航空研究開発機構(JAXA)
 ●後援: 神奈川県教育委員会 | 横浜市教育委員会 | 川崎市教育委員会 | 茅ヶ崎市教育委員会 ●ニュースパーク(日本新聞博物館) 〒231-8311 横浜市中区日本大通111
 横浜情報文化センター | Tel.045-661-2040 | Fax.045-661-2029 | <https://newspark.jp> ●企画展の詳細情報は、QRコードから「ペンを止めるな!」専用ウェブサイト